

シンポジウム パネル討論

◆ ニューノーマルにおける知的財産戦略 -5G, AI, IoT, DX でポスト・コロナ時代を拓く- ◆

【概要】

新型コロナウイルスが世界的に蔓延するなか、社会全体は否応なくオンライン化され、人々の行動が大きく変化している。これまで緩やかに実現に向かってきた「Society 5.0」を、いわば強制的に実現し、新たな日常（ニューノーマル）の中で社会システムを回す必要に迫られている。そのため、これまで現実世界で実施してきた事象をサイバー空間に移行するという、デジタルトランスフォーメーション(DX)が必須となっている。このようなニューノーマルの中で、ビジネスを加速させていくためには、人工知能(AI: artificial intelligence), IoT (Internet of Things), 5G(第5世代移動通信システム)に精通する技術者を巻き込みながら、目まぐるしく変化する現況の課題を顕在化し、新たな知的財産戦略を定めていくことが重要であると考えます。

このような背景のもと、本シンポジウムでは、ニューノーマルに必要な、デジタルトランスフォーメーションとその後の世界、知財戦略のあり方を俯瞰的にとらえ、

- ニューノーマルに求められる知財制度
- ニューノーマルで産み出されるエンタテインメントビジネスとデジタルコンテンツ
- デジタルトランスフォーメーションを支える知財
- データ駆動型社会に向けたデータ利活用の推進と課題
- AI・機械学習に活用されるデータの扱い
- ニューノーマルにおける人材育成

等、各界の著名人を迎え、企業の知財戦略, 教育界における対応, 及び政府の対応についてパネルディスカッションにて、より良きニューノーマルに向けた知財戦略議論する。

■ パネリスト（講演順）

久夛良木健氏（サイバーアイ・エンタテインメント株式会社 代表取締役社長）※再掲

田野俊一氏（国立大学法人電気通信大学 学長）

田淵エルガ氏（内閣府 知的財産戦略推進事務局 参事官）

澤井智毅氏（世界知的所有権機関（WIPO）日本事務所 所長）

戸田裕二氏（株式会社日立製作所 理事 知的財産本部長）

久保雅一氏（株式会社小学館 国際・メディア事業局 取締役／本学会副会長）

■ モデレーター

渡部俊也氏（東京大学 未来ビジョン研究センター教授/本学会会長）

シンポジウム パネル討論

◆ ニューノーマルにおける知的財産戦略 -5G, AI, IoT, DX でポスト・コロナ時代を拓く- ◆

【パネリスト略歴】

「自律進化型超スマート社会を支える知財制度の新たな課題について」

田野 俊一 氏

(国立大学法人 電気通信大学 学長)



1983年東京工業大学院総合理工学研究科システム科学専攻修士課程修了。同年、株式会社日立製作所システム開発研究所入社。1990-91年カーネギーメロン大学客員研究員。1991-95年国際ファジィ工学研究所。

1996年電気通信大学 大学院情報システム学研究科助教授。

2000-01年マサチューセッツ工科大学客員科学者。2002年電気通信大学教授。

2020年電気通信大学 学長。

博士（工学）。人工知能、あいまい理論、認知モデル、知的HCIの研究に従事。

「ニューノーマルにおける政府の知的財産戦略」

田淵 エルガ 氏

(内閣府 知的財産戦略推進事務局 参事官)



慶應義塾大学法学部卒業後、文部省（現文部科学省）に入省。

世界知的所有権機関（WIPO）、滋賀県県民文化生活部県民文化課長、文化庁長官官房著作権課著作物流通推進室長、横浜国立大学国際社会科学研究院准教授（知的財産法担当）等を経て、

令和元年7月より内閣府知的財産戦略推進事務局参事官。コンテンツ分野を担当。

シンポジウム パネル討論

◆ ニューノーマルにおける知的財産戦略 -5G, AI, IoT, DX でポスト・コロナ時代を拓く- ◆

「新たな時代に役割を増す知的財産制度」

澤井 智毅 氏

(世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所 所長)



筑波大学大学院理工学研究科修了

特許庁審査第一部長, 第二部長, 調整課長, 国際課長,
JETRO ニューヨーク知財部長, 審査官, 審判官等を歴任し、
2019年11月より現職

特許庁では、特許制度改正, 意匠制度改革, 審査処理対策, 国際制度調和等を推進。
現職にて、知財制度の普及啓発や国際出願制度の促進, 日本政府や裁判所との連携
に注力。日本商工会議所知的財産専門委員会学識委員。

「デジタル新時代の知財戦略」

戸田 裕二 氏

(株式会社日立製作所 理事 知的財産本部長)



電気通信大学卒業後、日立製作所に入社以来、特許権利化、特許ライセンス、知財訴訟、知財戦略策定など知財マネジメント全般を30年以上経験。特許調査などを行なう株式会社日立技術情報サービスの取締役社長を歴任。

弁理士資格を保有すると共に、米国ロースクール Franklin Pierce Law Center (現 University of New Hampshire School of Law), MIP (Master of IP) 取得。
最近では、一般社団法人日本知的財産協会 理事長、日本政府の内閣府知的財産戦略本部 検証・評価・企画委員会の構成員や、東京大学 未来ビジョン研究センター 戦略タスクフォースリーダー育成プログラム アドバイザーなどを務めている。

シンポジウム パネル討論

◆ ニューノーマルにおける知的財産戦略 -5G, AI, IoT, DX でポスト・コロナ時代を拓く- ◆

「New normal 時代のコンテンツ産業」

久保 雅一 氏 (株式会社小学館 国際・メディア事業局
取締役/日本知財学会 副会長)



1983年 早稲田大学教育学部 卒業

1983年 株式会社小学館入社

2015年 株式会社小学館集英社プロダクション 取締役

2015年 株式会社小学館 国際メディア事業局

2018年 株式会社小学館集英社プロダクション 常務取締役

株式会社小学館ミュージック&デジタルエンタテインメント 取締役

一般社団法人日本知財学会 副会長

特定非営利活動法人エンターテインメント・ロイヤーズ・ネットワーク 理事

東京国際映画祭実行委員

株式会社よしもとデジタルエンタテインメント 取締役

【モデレーター略歴】

渡部 俊也 氏 (東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
/ 日本知財学会 会長)



1984年東京工業大学無機材料工学専攻修士課程修了、1994年同大学無機材料工学専攻博士課程修了(工学博士)。民間企業を経て1998年東京大学先端科学技術研究センター情報機能材料客員教授。2001年より同センター教授、2020年現在

大学執行役・副学長、未来ビジョン研究センター教授、工学系研究科技術経営戦略学専攻教授(兼)、東京大学産学協創推進本部本部長、東京大学安全保障輸出管理支援室室長、一般社団法人日本知財学会理事(会長)、研究・イノベーション学会会員、内閣府知的財産戦略本部 検証・評価・企画委員会座長(産業財産権分野担当)、経済産業省産業構造審議会産業技術環境分科会研究開発・評価小委員会委員、経済産業省国立研究開発法人審議会委員(NEDO 部会長)・経済産業省産業構造審議会 産業技術環境分科会評価小委員会委員・文部科学省産業連携・地域支援部会臨時委員、大学等における産学官連携リスクマネジメント検討委員会座長などを兼ねる。